



# 鹿児島県



第3号  
令和8年3月発行

# 幼児教育センターだより

令和7年4月に鹿児島県幼児教育センターを設置し、1年が経過します。今年度は主に、幼児教育アドバイザーによる保育参観や園内研修などを通して、皆様方の幼児教育や保育の充実にに向けた取組をご支援させていただきました。

本号では、今年度の幼児教育センターの主な取組についてご紹介します。

## 令和7年度の主な取組

### I 研修会

#### (1) 発達障害児への支援力向上研修【2/2(月)～2/27(金)実施】

県こども総合療育センターとの共催で、発達障害児への支援力向上研修を開催しました。「保育の現場で気付き、適切な支援に繋げるために～発達障害の理解と保育教育医療福祉の連携～」をテーマに、同センターの外岡所長が講演しました。

オンデマンド形式で実施し、保育所や認定こども園の保育士の方など約1300人に聴講いただきました。

保育の現場で気付き、適切な支援に繋げるために  
～発達障害の理解と保育教育医療福祉の連携～

障害としての支援が必要なケースに多職種連携の中で気付く

鹿児島県こども総合療育センター  
所長 外岡資朗



#### ○ 受講者の感想【一部抜粋】

- ・ 講話内では発達障害に関する様々な研究成果を取り入れ、分かりやすく説明されており、理解を深めることができました。日頃の保育で子どもたちに適切な支援ができるといいなと思います。
- ・ 子どもの特性を正しく理解し、適切な環境を構成したり、声かけを工夫したりしたいです。

#### (2) 幼保小の架け橋プログラムに関する研修会【2/13(金)実施】

市町村の教育委員会や保育施設担当部局の職員を対象に、幼保小の架け橋プログラムに関する研修会をオンライン形式で開催し、23人が参加しました。研修会では、「架け橋プログラム推進の必要性」「架け橋期のカリキュラム作成の手法」をテーマに、幼児教育アドバイザーによる講演などを実施しました。

また、参加者によるグループ別の意見交換会も行い、関係機関や施設間の連携の在り方や架け橋期カリキュラム作成の状況などについて情報交換がなされました。

### 12 幼保小連携と「10の姿」との関連は？

- ・ 「10の姿」は、子どもに資質・能力が育まれていく過程で見られる生活の姿を総合的に示したものです。
- ・ 「10の姿」を幼保小双方が共有することで、幼児教育と小学校教育との接続の一層の強化を図ることをねらいとしています。
- ・ つまり、「10の姿」は、幼保小が連携を図る上で、子どもの育ちを具体的に共有するための「架け橋」となるものです。
- ・ 「10の姿」を常に念頭に置きながら、幼保小の先生たちが協力し合って『架け橋期のカリキュラム』を作成しましょう。

## 2 幼児教育アドバイザーによる訪問支援

各園や団体、市町村教育委員会などから、約30件の派遣申請をいただき、支援・配慮が必要な子どもへの対応や、保護者との信頼関係の構築の考え方・方法などについて助言を行いました。

### 【幼児教育アドバイザー訪問支援の活用例】

#### (1) 保育参観を通じた助言

##### ① 派遣申請の内容

実際の保育の様子をアドバイザーが参観し、子どもに対する言葉かけ等について、気づいたことを助言してもらいたい。

##### ② 幼児教育アドバイザーの支援内容

保育参観を通じ、アドバイザーが気づいた以下の内容を園長・保育者に助言した。

#### 【幼児教育アドバイザーの気づき】

- ・ 保育者が子どもに対して肯定的な言葉かけが多く、子どもたちが意欲的に活動に取り組むことができている。  
また、保育士の皆さんが常にこやかに落ち着いて子どもに接しているので、安心して遊びに取り組む姿が見られる。
- ・ 「部屋では走ったらだめだよ。」など禁止・否定する言葉かけではなく、「部屋では歩こうね」といった望ましいと感じる姿を伝えると、子どもに伝わりやすい言葉になる。

##### ③ 園の感想【一部抜粋】

幼児教育アドバイザーの豊かな経験や、園の職員とは異なる視点での子どもとの関わり方について伺うことができ、とてもありがかった。



#### (2) 園内研修での支援

##### ① 派遣申請の内容

保護者との信頼関係の構築方法、保護者からの相談に対する保育者の対応の在り方について、アドバイザーに講話をしてもらいたい。

##### ② 幼児教育アドバイザーの支援内容

「保護者からの相談は、保護者との信頼関係を築く最大のチャンスである」をテーマに、以下の項目の講話を実施した。

#### 【講話の項目】

- ・ 日々のコミュニケーションを密にとることの重要性
- ・ 連絡帳の上手な活用方法
- ・ 管理職や主任に連絡・相談することの重要性
- ・ 傾聴・共感を意識した保護者の話を聞くときの聞き方
- ・ 子どものけんかやトラブルを保護者へ伝えるときに気をつけること



##### ③ 園の感想【一部抜粋】

保護者対応について、アドバイザーがこれまでに体験した過去の具体例を基に講話をいただいた。保護者との信頼関係づくりの在り方を職員全体で考えることができ、教えていただいたことを早速実践する職員もいた。



@pref.kagoshima.greboo

幼児教育センターでは引き続き、皆様方の幼児教育・保育の質の向上に向けた取組を支援してまいります。

また、幼児教育アドバイザーは離島を含め、県内各地の幼児教育施設に向向き、課題解決等に向けた助言をさせていただきます。「こんな相談でも大丈夫かな」などを含め、まずはお気軽にお問い合わせください。

電話：099-286-2089 F A X：099-286-5561  
メール：ikusei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島県幼児教育センターのホームページの二次元コードです。

